

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

水産課長 鈴木 岳明

電話番号

0852-22-5311

事務事業の名称	漁業無線管理運営事業	
目的	(1) 対象	漁業者・官公庁
	(2) 意図	漁業無線の有効な利用を促進し、漁船等の安全確保の向上を図る。
事業概要	海上における危機管理体制を構築するため、漁業指導無線業務を運営するとともに、H19に施設整備されたJFしまね漁業無線局の安定運営に寄与するため、JFしまねに対して、整備費の一部を負担する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 漁業無線指導所の漁業無線通信回数	目標値		10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	回
		取組目標値						
	式・定義 漁業無線指導所の漁業無線通信回数	実績値	11,177.0	10,928.0				
		達成率	-	109.3	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	4,402	4,402
うち一般財源 (千円)	4,402	4,402

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

24時間体制にて漁業指導無線業務が実施されており、本県漁船の安全確保に寄与している。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

島根県所有船との通信及び漁船に対する指導監督に関する通信、組合員への気象情報、海上防災情報及び漁海況速報の提供により海難事故の防止と操業能率の向上に貢献した。
今年度より無線技士1名を採用。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

今年度より無線技士1名を採用したものの、依然として必要な資格者が不足している。そのため、嘱託職員の募集を実施しているが応募がないなど、人員の確保に支障をきたしている。

②困っている状況が発生している「原因」

通信業務を行うためには資格が必要なこと。

③原因を解消するための「課題」

県内の有資格者が少ないことに加えて県内外での同様のニーズが多い。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

更なる効果的かつ効率的な情報提供の在り方を検討するとともに、通信従事者として有資格者の確保に努める。